

音楽の世界で今何が起きている??

阿部 竜之介 『Pepeの視点』

July / 14 / 2017 # 52

Trombone & Euphonium奏者の阿部竜之介(Pepe)です。

このメールマガジンでは、僕から見た今の音楽の世界で起きていること、また演奏に関するヒントなどをお届けしていきます。

またメルマガ内でもいろいろな質問に答えていこうと思っていますので、どんどん質問してきてくださいね！

INDEX

[1] 旬な話題、気になる話題

『ゲーム音楽』

[2] Pepeのひとりごと

『プロフェッショナルとは』

[3] おすすめ動画

『S. Dohr, E. Pahud - Solos from Brahms' 1st Symphony - Berliner Phil.』

『Concerto for Euphonium - PHILIP WILBY』

[4] 演奏のヒント！

『フィンガリング（指使い）』

[5] 編集後記

[1] 旬な話題、気になる話題

『ゲーム音楽』

先月号で「今年度はオペラ公演が多い」ということを書きましたが、オペラに負けず、ゲーム音楽のコンサートもたくさんあります。

これまでに「星のカービィ」「キングダム・ハーツ」のコンサートをやりましたが、他にも「メタルギア」「モンスターハンター」のコンサートもあります（まだ他にもあったかも・・・）。

どのゲームも知らないのでも曲を聞いても全くどのような場面の音楽なのか分からないのですが、聴いてくださるゲームのファンの方たちにとっては、オーケストラによる生演奏はやっぱり違うものようです。

ファンの方たちをガッカリさせないよう、いつもしっかりと役割を果たしていこうと思っています！！

[2] Pepeのひとりごと

『プロフェッショナルとは』

このメールマガジンを購読してくださっている人の中には、プロフェッショナルの演奏家を志して頑張っている人もいます。

ここで一つ、いち演奏音楽家として伝えておきたいことがあります。それは、僕ももちろん常に強く意識してやっていることなのですが、しっかりとトレーニング（練習）をして基礎を手に入れて、何年経っても、ずっとそれをしっかりと維持していく努力をし続けてください。

演奏音楽家として、その努力は必ず必要なことだと思っています。そうしないと、周りの人に迷惑をかけることになってしまいますよ！！

例えば、演奏中遅れるところがあった場合に、（演奏しているテンポを）速くしてつじつまを合わせるようなやり方はやらないでください。

そういう方法を取ると、ちゃんとしたテンポで止まりにくくて、今度は逆に速すぎることになってしまいがちなんです。遅れていたら、合うべきところを「点」で捉えてそこを揃えていく。そういう方法を取って修正するようにしてください。

こうして文章で読むだけではよくわからないと思うけど、しっかりシンプルなもの（エチュードなど）でもメトロノームを使って練習（トレーニング？）をしていると、きっとそういうことがわかるようになってくるし、できるようになります。

わかる人にはわかるものなんですよねぇ。;)
一緒に演奏している人に迷惑をかけないで、聴いている人たちに音楽のすばらしさを伝えられる音楽家を目指しましょうね！！ :D

[3] おすすめ動画

『S. Dohr, E. Pahud - Solos from Brahms' 1st Symphony - Berliner Phil.』

[https://www.youtube.com/watch?](https://www.youtube.com/watch?v=gpY1ajfzJfw&list=FLMnqqdLPBhh36yGuKu08PSg&index=19)

[v=gpY1ajfzJfw&list=FLMnqqdLPBhh36yGuKu08PSg&index=19](https://www.youtube.com/watch?v=gpY1ajfzJfw&list=FLMnqqdLPBhh36yGuKu08PSg&index=19)

今月1つ目の動画は、ベルリン・フィルハーモニーのBrahmsの「交響曲第1番」からです。

素晴らしい！というより、かっこいい！！:D

僕もがんばっていい音楽家になります！;)

『Concerto for Euphonium - PHILIP WILBY』

[https://www.youtube.com/watch?](https://www.youtube.com/watch?v=OHDrpOdwJ6o&list=FLMnqqdLPBhh36yGuKu08PSg&index=3)

[v=OHDrpOdwJ6o&list=FLMnqqdLPBhh36yGuKu08PSg&index=3](https://www.youtube.com/watch?v=OHDrpOdwJ6o&list=FLMnqqdLPBhh36yGuKu08PSg&index=3)

2つ目の動画は、僕の好きなEuphonium Concertoの一つ、P.WilbyのEuphonium Concertoです！:)

演奏は、Grant Jameson氏。

会ったことはないのだけど、しっかりとした演奏をします。

この曲、久しぶりに吹きたいなあ～。:)

この曲はオーケストラ伴奏も吹奏楽伴奏もブラスバンド伴奏もあります。

僕はいつでもいいですよ～！

興味のある楽団、募集していま～す！！;)

[4] 演奏のヒント！

『フィンガリング（指使い）』

今月はフィンガリングについてです。

Tromboneの方、今月は役に立たないことかもしれませんが、

興味があれば覗いていってくださいね（笑）。

みなさん、フィンガリングの練習のために何かやっていることはありますか？

僕は、よくH.L.Clarkeの「Technical Studies」を使って

フィンガリングの練習をやります。

フィンガリングの練習は、ただメトロノームをつけて吹くだけではトレーニング（練習）にはなりません。

しっかりいろいろなことをチェックしながらやる必要があります。

やる上でのチェックポイントをいくつか挙げますね。

- ・ 正確に（均等に）拍の中に収まっているか
- ・ ヴァルヴ（指）の動きに怪しいところがないか
- ・ 運指によって音量に変化が生じていないか

パッと浮かぶのはこのくらいでしょうか？

2つ目の「怪しいところがないか」というのは、なかなか内容を正確に文章で伝えるのが難しいのですが、いつどのタイミングでどの指がどのように動いているのか、動くべきなのかを把握すること。そして、そうするためにはいつどのくらいの力がどの指に必要なのか、ということ把握してコントロールできるようにならなければいけません。

もう一つヒントを。

指は「下ろす（押す）」動きと「上げる（離す）」動きの2つがあります。

このどちらの動きにも、最適な力量というものがあります。それを見つける作業がフィンガリングの練習だと僕は思っています。

こう書くと難しいことのように感じますが、これができると、自分の癖や弱いところがよくわかり、「練習」が「できないことをなくす作業」になっていきますよ。

「ゆっくり」「確実に」「反復して」やっていきましょう～。
必ずできるようになっていきますからね！ :)

編集後記

毎日暑～～い日が続きますねえ。

僕は今週オーケストラの学校公演ツアーがあり、3日続けて36°Cを越す体育館でのコンサートをやってきました（今日が最終日でした）。

いやあ、正直、無事に乗り越えることができ、心底ホッとしています。冗談じゃなく、本当に過酷な環境での演奏なので、毎回乗り切ることができるとかの心配がつきまわってきています。

もう日本はあの温帯だった頃の日本ではありません！！
あんなに汗をかくことなんて、サウナ以外になかったと思います。 :)

次回の学校公演ツアーは10月末に京都で。
その頃はもう暑くないかなあ？

暑い中での演奏はもう勘弁してくださ〜い（笑）。

阿部 竜之介(Pepe) オフィシャルウェブサイト
<http://www.pepeabe.com>
ご意見、感想、質問などはメールどうぞ！
info@pepeabe.com

©阿部竜之介 『Pepeの視点』
のバックナンバー、配信停止はこちら
<http://www.mag2.com/m/0001601194.html>